

英語科 学習指導案

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 齊藤 大行

1 対象・日時 1年B組 令和5年2月17日(金) 1校時

2 本単元で育成したい資質・能力（評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識></p> <p>① be going to～や will を用いた未来を表現する意味や働きの理解している。</p> <p><技能></p> <p>② be going to～や will を用いた未来を表現する意味や働きの理解をもとに週末の天気予報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>① 週末の予定を留学生たちに提案するために留学生の要望と天気予報を正確に聞いて、天気や気温などの必要な情報をとらえている。</p>	<p>① 週末の予定を留学生たちに提案するために留学生の要望と天気予報を正確に</p> <p>② 聞いて、天気や気温など必要な情報をとらえようとしている。</p>

3 単元「Take action!天気予報」について

本単元では、「聞くこと」の指導に焦点を当てている。学習指導要領の目標「聞くこと」イ「店や公共機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動」、エ「友達や家族、学校生活などの日常的話題説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動」の両方を目指す。交換留学で中学校を訪れる3人の外国人にしてみたいことを事前に音声で送ってもらい、その内容を聞く。そして次に、流される天気予報を聞いて、必要な情報を聞き出し、条件に合った週末の予定を提案する。活動に入る前ワークシートを配付し、そこで聞き取れた内容をメモする。次に、時間や天候や予算、条件に合わせて週末の予定に提案する。

生徒たちは小学校から学んできた（聞くことと話すこと）には慣れていて、意欲的に対話活動に取り組む姿が見られる。本単元では、キーワードやトピックなど英文の全てではなく、概要を理解させるように意識して聞かせ、図や表を見て、全体を把握し、自分が必要とする情報を手早く掴むこと、知っている語や表現から内容を推測しながら、自分たちのことを即興で提案することとする。

4 生徒の学びの履歴

これまで「聞くこと」の活動として、フォニックス指導に取り組み、Microsoft Office Word のレコーディング機能を利用した自分の発音と文字の認識、KAHOOT! を利用した音声認識トレーニング、魔法の音声アプリ（東京書籍）を使用し、音声と聞くこと読むことをゲーム的に行なってきた。また聞くことから書くことへつながりも含めて、ディクテーションなどの活動を実際に行ってきた。

教科書全体を把握するために lesson 全体の絵しか載せていないワークシートを生徒に配付し、その内容を聞くことで全体の概要を掴む練習を行なってきた。また lesson の終わりに、イラストや絵だけが載っているワークシートを生徒に配布し、そのワークシートを使ったリテリング活動も行ってきた。教科書の(Listen!)の内容には、何のために聞くのか、そして聞く必要のある内容が、多く含まれており、全体の内容を表すトピックをつかまえたりしたことの成果を、定期テストで確認するようにした。

本単元では、ある程度まとまった文量の英文を、聞く機会を複数回設定し、聞くことの力を高めていく。さらに、聞くこと、読むこと、そして書くことや話すことを行き来しながら、ただ聞くだけでなく、その内容を他者へ伝えたり、内容についてより深く考えたり、発信・熟考していくことにつなげていく。

5 資質・能力育成のプロセス（4時間扱い、本時 は2時間目）

次	時	評価規準（想定する「Bと判断する状況」） （丸番号は、2の評価規準の番号）	【 】内は評価方法及び Cと判断する状況への手立て
1	1	<p>知 be going to～や will を用いた未来を表す表現の意味や働きについて理解している。（○）</p>	<p>【発言・ワークシートの確認】 C：帯活動の「天気予報で使用される表現」をもう一度確認させる。</p>
2	2	<p>知 be going to～や will を用いた未来を表現する意味や働きの理解している。（○）</p> <p>思 週末の予定を友人に提案するために、天気予報を聞いて、天気や気温など必要な情報をとらえている。（○）</p>	<p>【ワークシートの記述の確認】 C：ワークシートに聞き取れた内容をキーワードとしてメモさせる。</p> <p>【ワークシートの記述の確認】 C：相手の必要な条件を考えさせる。</p>
3	3	<p>技 be going to～や will を用いた未来を表す表現の意味や働きの理解をもとに、週末の天気予報を聞き取る技能を身に付けている。（○◎）</p> <p>思 週末の予定を友人に提案するために天気予報を聞いて、天気や気温などの必要な情報を捉えている。（○◎）</p> <p>態 週末の予定を友人に提案するために天気予報を聞いて、天気や気温などの必要な情報を捉えようとしている。（○◎）</p>	<p>【発言の確認】 【行動の分析】 C：週末の予定をwill, be going toを使って表現させる。基本的な未来表現を使って活動を入れて考えるように促す。</p> <p>【ワークシートの確認・分析】 C：天気予報の内容を捉えて、自分が楽しめる週末の予定について考えてみるように促す。</p> <p>【ワークシートの確認・分析】 C：場面や状況を理解した上で、相手の要望を振り返えらせる。</p>
4	4	<p>態 本単元の学習を振り返り、自己の変容や成果をまとめようとしている。（○）</p>	<p>【発言・ワークシートの確認】 C：振り返りシートに自分の足りなかった部分や聞く力を上げるためにどのようなことを今後していく必要があるのかを記入させる。</p>

主たる学習活動	指導上の留意点	時
<ul style="list-style-type: none"> ・天気予報の内容について聞く。 ・学習プランを活用し、本単元の見通しをもつ。 ・天気予報を聞き、聞き取った情報をワークシートにメモする。 <p>1回目…天気予報の概要をつかむ。 2回目…各地区がどんな天候かをメモする。 3回目…週末に何ができるかを考えながら、聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プランを示し、学習の流れと身に付けたい資質・能力を共有し、これまでの学習とのつながりを伝える。 ・ワークシートの穴埋めをすることでキーワードや大切なものを聞き取らせたい。 ・聞くために必要な情報のキーワードなどをメモさせるようにする。 ・話者が強調している部分や、間を置く部分ほどこなのかを考えさせながら聞かせる。 	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ALTのモデルリスニングを2回聞き、要望や必要条件を聞き取る。 ・3日間の天気予報を2回聞き、その内容を整理し、ALTに提案する内容を考える。 ・なぜその提案をするのかをワークシートに記入する。 ・グループで考えた提案を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTが何をしたいのか概要をつかみ、ワークシートに記入させる。 ・天気予報から得られた条件を基に、ALTに提案するプランを考えさせる。 ・聞き取れた条件から提案する意味やその理由を書かせる。 ・なぜその提案をするのか理由を説明させる。 	2
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習課題 天気予報を聞き、留学生の要望に合わせた週末の予定を提案してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・3人の交換留学生の週末にしてみたい内容を聞いて、ワークシートにメモする。 ・3人の留学生のどの人に提案するかを決める。 ・週末の天気予報で各地区の天気の情報を知り、必要な情報をメモする。 ・聞き取れた情報を基に、自分の提案する週末の予定とその理由をワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文ではなくキーワードなどを書かせる。 ・聞き取った条件の中で自分が提案したいものを選びさせる。 ・週末に活動できる内容を想像しながら天気についての情報を聞き取らせる。 ・具体的に聞き取れた内容に対して、その提案が妥当かどうかを想起させる。 	3
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのメモを参考に、即興で他者に提案を試してみる。 ・単元を通して学んだことをワークシートにまとめる。 ・Class Notebookに自分のデータを残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った内容を踏まえて発言できているかを確認する。 ・次に同じような活動を行うとしたら、自分なりに工夫してみたいところを考えさせる。 	4

6 学びの実現に向けた授業デザイン

【「学びに向かう力」が高まっている生徒の姿】

既習語から内容を推測して英文全体を聞き、図や表を活用しながら英文の概要を捉えようとしている姿。
自分の思いが伝わるように、伝える内容や英語表現を工夫して紹介する姿。



【「学びに向かう力」を高めていくための指導と評価の工夫】

○観点別学習状況のあり方

1. 「知識・技能」の指導と評価

教科書の文章や例文から既習表現である現在形と未来形の違いに気付かせ、教科書全体の概要を写真やイラストを用いてリスニングを3ラウンドで行うことで、使用場面や使い方や話の概要についてメモをし、理解する。さらに、そこから教科書本文をイラストのみから文字として書き換え、その中で動詞の形を意識して、場面に合ったものを選択することで、文字としても理解しているかを確認する。「聞くこと」「書くこと」に加え、英語で表現する活動で、「話すこと」にもつなげる。生徒の理解の状況を把握するために、ワークシートは適宜回収し、生徒の苦手としている部分をグループや学級全体で再度確認し、生徒のよい例を共有する。最終的には、授業で扱った内容と似た問題を定期テストで出題し、その結果を評価する。

2. 「思考・判断・表現」の指導と評価

学習課題は、生徒が実際のイメージがもてるように、写真やイラストなどを用いてキーワードをもとに英文を作成できるように明確な目的・場面・状況を設定するようにする。学習課題①では生徒に自身の現状を把握させるために、ヒントや読み方は示さず、そのまま聞かせる。その後、すべての情報を聞くのではなく、必要な情報を正確に素早くとらえるためにはどうしたらよいか、概要を捉えるために必要なことは何かという視点で、より良い聞き方を考えさせる。聞く際の工夫の一つとして、トピックに関係性のある単語やフレーズなどお助けになる項目を示し、それについて正しく聞き取れているか、概要を捉える視点として、話し手が述べていることの大まかな内容が捉えられているかに注目する。話し手は、この話す行為で一体何をメッセージとして伝えたいのか、またそこから、聞き手にどのようにしてほしいのかを注目する。また、知識・技能と同様に定期テストの結果を評価する。

3. 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価

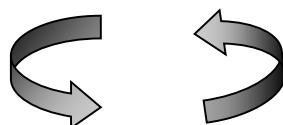
英文を聞くことに対して苦手意識がある生徒も安心して学習課題に臨めるように、一つ目の学習課題の初めに、教科書e-navi(秀学社)で使用した項目を振り返って音のつながりを再確認する。そして、班や学級全体で音のつながりを共有し、どのような場面で音がリンクして聞こえるのか、アイデアを共有し、もう一度音を聞いてみることで、英文の内容やそこで使われる表現に対してのイメージをもつことができるようにする。学習課題は内容を変え、少しずつ自身でまとめる形式や読み方を選びながら取り組めるように流れになっている。聞いたイメージを自分が話し手に変わること、聞き手をイメージして表現する活動につなげていく。評価については、自らの学習を捉え、改善を図ろうとしている姿を、ワークシートの記述から見取る。

○言語活動を充実させるための工夫

学習課題に取り組むごとに、聞く際に意識したことや役に立ったこと、改善点をメモする「リスニングスキルアップ」シートをone-note上で使用する。そして自身の変容を見取りやすくする。またその際に、考えたことや感じたことについては、その都度書き足すことができるようにする。学びの状況を貯めていくことで、自身の成長に気付かせるとともに、過去の学びを振り返り、次へつなげることができるようにしていきたい。

【本単元での指導事項】*(既習)は既習事項

- ・店や公共機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、必要な情報を聞き取る活動。
- ・友達や家族、学校生活などの日常的な話題を聞いて概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。



【本単元における、総合的な学習の時間(TOFY)とのつながり】(※「考えるための技法」はゴシック)

- ・本単元で身に付けた力は、TOFYで情報を整理する際に役立つと考えられる。図や表を用いながら情報をまとめていくことで、複数の対象を**比較**したり、共通点をもとに**分類**したりしやすくなり、考えを深めることにつながると考える。